



# 連合会だより

2020年7月

83号

225 団体  
87,669 世帯  
町田市原町田 4-9-8  
042-722-4262  
発行人 安達 廣美

## 新役員決まる

令和2年度定期総会は新型コロナウイルス感染防止のため書面議決を行い安達廣美氏の連合会長選出と連合会各担当役員が承認されました。2020年度連合会新役員を紹介致します。



### 市連合会会長 安達 廣美

新型コロナウイルス感染症が蔓延の中、新年度(令和2年度)が始まりました。町田市町内会・自治会連合会(略称:市連)と致しましても、初めての経験であり会員の皆様方に置かれましても同様ではないでしょうか。町田市から発令されている各施設の使用自粛要請・不要不急の外出を控えること。などなど制約があり、活動そのものが麻痺状態にあります。

裏面へ続く



### 町田第二地区会長 中 一登 会長代行

「コロナ時代」と言われる新時代に入ってきました。厳しい、難しい時代に会員の皆さんと共に如何に生活をしていくか新たな課題が出てまいりました。市連として何が出来るのか、しなければならぬのか、情報交換、発信をしていければと思います。コロナ禍についての対処、対応について都、市等の行政から発せられております。安心、安全な生活が出来る街を目指してまいりましょう。



### 南地区会長 長谷川 義剛 副会長(会計担当)

昨年11月13日に開発を進めて来た「南町田グランベリーパーク」が町田の新しい南の玄関としてオープンしました。南地区の43町内会・自治会は「みんなのみなみ」の合言葉のもと、安全・安心の住み良い魅力的な街づくりを目指します。積極的に参加しましょう。



### 高ヶ坂成瀬地区会長 木目田 和良 副会長(総務担当)

高ヶ坂成瀬地区では、昨年に引き続き大地震を想定し、各町会にて避難訓練を実施していただきたくと考えております。これを実施する事によって地震に対する住民の意識を高めていき、事が起きた時に速やかに対応が出来ればと考えます。



### 町田第一地区会長 宮島 榮一 副会長(庶務担当)

町田市の心となる商店街及び小田急線・JR両駅、そして駅に近い緑豊かな芹ヶ谷公園を抱える地域として防火・防災・防犯等様々な悩みもありますが訪れる方々、住民の皆様が楽しく安心していただける街づくりをして行きたいと町内会自治会連合会、商店会一体となり日夜努力し頑張っております。



### 玉川学園南大谷地区会長 服部 知行 副会長(庶務担当)

今回新たに大きな課題となった感染症と、富士山噴火を視野に入れた防災対策を地域として考えて行く必要がある事を実感しました。玉川学園地域は地震の避難者数が特に多い事も踏まえて今後の災害対策を考えて行く必要があると考えています。



### 木曽地区会長 竹島 正 副会長(広報担当)

新型コロナ感染防止の理由により回覧資料が届かなくなりました。「接触」を控える為だそうです。「情報の入手はスマホで出来る」という意見があります。ただ、回覧板の使命は情報を届けるだけでしょうか。デジタル化された便利な社会の「満たされない部分」を埋めていくのも大事な事だと思います。



### 忠生地区会長 高橋 清人 副会長(総務担当)

すべての世代が助け合う、安全で住みやすい地域づくりを目指しています。モノレール導入道路計画、小田急延伸などの早期実現、リサイクルセンター建て替え後の環境保全と周辺まちづくりなどに取り組んでいきます。



### 鶴川地区会長 仲村 清彦 副会長(庶務担当)

鶴川地区は町田市の北部約22km<sup>2</sup>を占め人口は10万人を超える地域です。人口も面積も市内では一番大きい地区です。市街化区域と里山緑地が融合された田園都市です。古い住民と新しく終の棲家にした人のバランスのとれた楽しく活発な町内会連合会を造りたいと考えています。



### 小山地区会長 関 和夫 副会長(会計担当)

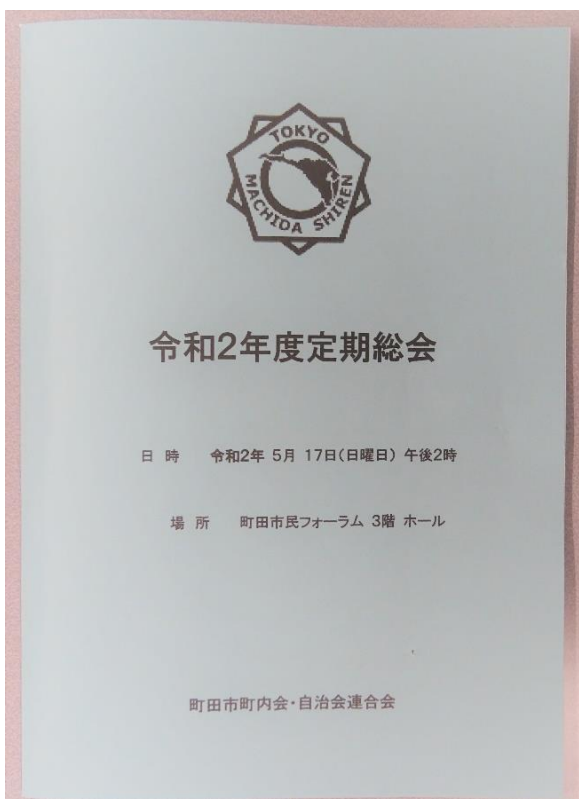
小山地区は、新築マンション、住宅建設が多く昨年比人口+205、世帯数+244で、市の人口、世帯数が頭打ちする中で伸び盛りの街です。この数年間に設立された自治会が数件あり、加入説明会済のところへの次のステップに入り地区連合会、市連への加入促進を図りたいと考えております。



### 相原地区会長 井上 正行 副会長(広報担当)

相原地区は、緑が多く自然環境にも恵まれた中で、安全で住みよい街づくりを目指して、それぞれの町会、自治会が結束して活動して来ました。新しい時代の町内会・自治会の在り方を模索しながら、地区協議会を始め、関係諸団体と連携し、活動を進めていきたいと考えております。

# 令和2年度定期総会



令和2年度町田市町内会・自治会連合会の定期総会は5月17日開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染防止という観点からやむなく書面議決を選択させていただきました。

令和2年度町田市町内会・自治会連合会総会（書面議決）について次の通り議決に関する権限を行使しました。

第1号議案 令和1年度事業報告

第2号議案 令和1年度決算報告

令和1年度会計監査報告

第3号議案 令和2年度事業報告（案）

第4号議案 令和2年度予算（案）

第5号議案 規約変更（文言一部変更）（案）

書面表決書回収の結果、225団体中200団体の賛成多数を以って全議案承認されました。

尚、多数の貴重なご意見を頂いたことに、感謝するとともに今後の市連合会運営に活かして参ります。

## 安達会長あいさつ（一面より続く）

町田市からの新型コロナ関連情報をいち早く入手し、今年度の活動に結び付けたいと考えています。

コロナ禍で社会情勢が大きく変わりつつもあります。収束する兆しも未だ不透明であります。自粛規制がまだまだ厳しい中ではありますが、『特殊詐欺関連対策』『新型コロナウイルス感染症対策』この2点は常に念頭に置き、現在取り組んでおります。他にも、防犯・交通事故・風水害・地震災害、これら被害防止に関しても、町田市・町田警察署布施署長・生活安全課石井課長・町田交通安全協会村松会長・町田防犯協会山下会長・町田消防署唐澤署長・町田消防団・南大沢警察署玉木署長・南大沢交通安全協会田中会長・南大沢防犯協会高橋会長・方々のご協力の元、同担当職員の皆様と連携し、市民の皆様が安全・安心で暮らせる街を考えています。昨今日本各地至るところで地震が発生しています。いつ集中豪雨に遭遇するかも分かりません。これらを踏まえ、避難所のありかた、考え方を、市・防災課と話し合い継続中です。避難施設の備蓄品確認・新に必要な物として、非接触型赤外線体温計・マスク・消毒液・ゴム／ビニール手袋・石鹼等々・感染症に必要とされる物。これらに関しましては既に、市、防災課が着実に進めています。

5月中旬より、市連の防災部会として「災害時の避難と感染症検討案」を提案し、防災課の意見等踏まえ、市連ホームページへ掲載予定を考えています。

東京都町会連合会の会計担当役員としても活動させて頂いていることもあり、今後の役員会や常任理事会での各、区市町村、都庁の考えを参考にし、市連の活動に生かせればと考えています。また、都町会連合会を通じて東京都にも要望書等出すことができます。参考事例として2点記載します。昨年(令和元年)取り上げたのが、①自動通話録音機貸与事業に関する事と、②消防団員の準中型免許取得についてです。都庁から出された回答については、事務局(市民協働推進課)と内容を検討し継続か否かを決める方向で考えています。

町田市町内会・自治会連合会 会長 安達廣美

編集委員 鈴木則夫